

終活に関する専門相談を始めます

後見支援センターでは、5月から弁護士や司法書士による終活に関する来所相談を始めます。終活に関する不安や困りごとへの相談に応じ、情報提供や助言などを行います。

【終活とは】

人生の終わりのために、身の回りの整理や葬儀・お墓の準備をすること

例えばこんな不安や困りごと…

 周りに頼れる親族が居ないので不安
 何かあったときの相続のことなどが心配 など

相談日時

第1・2・3火曜日 ①午後1時30分～ ②午後2時30分～ ※1人45分(予約制)

場所・申し込み(予約制)

後見支援センター(市社会福祉協議会内) TEL924-9151 FAX924-9134

シルバーサポーター養成講座 大久保地区編 ~認知症の人への支援をより専門的に学ぶ~

シルバーサポーターの役割や認知症の人との接し方、各種支援制度、大久保地区の地域資源などを学びます。

シルバーサポーターとは…

認知症の人の特徴と関わり方などを学び、より専門的に活動する人のこと。市独自の制度です。

日時/6月29日(木)、7月6日(木) いずれも午後1時30分～3時30分 場所/コープこうべ大久保定員/20人

対象/認知症の人を地域で支援するボランティア活動がしたい人や、対応などをより詳しく学びたい人 ※2回とも参加できる人 費用/無料

申し込み/6月19日(必着)までに、電話・はがき・ファクシミリ・メール(講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、車いすでの参加の場合はその旨を記入)で高齢者総合支援室高年福祉係(T673-8686 市役所内 TEL918-5288 FAX918-5106 kourei-fukushi@city.akashi.lg.jp)へ。応募多数時抽選

みくりや 御厨神社の弁財船模型が市指定有形文化財に

御厨神社(二見町東二見)に保管されている弁財船模型が市指定有形文化財に指定され、指定書授与式が4月26日に開催されました。

弁財船模型は天保6年(1835年)に、東二見村と西二見村の人々によって御厨神社に奉納された、海のまち明石の歴史を伝える貴重な文化財です。中嶋宮司は「地元の人々の協力があり、代々引き継いでいくことができた。今後も大切に引き継いでいきたい」と話してくれました。



当時の形を伝える 弁財船模型▼



広がっています! あかし版子ども食堂

食をきっかけに子どもが集まり、地域の人と交流しつなぐの輪を広げる子ども食堂。市内には全28小学校区49か所の子ども食堂があります。最近オープンした、子ども食堂5か所を紹介します。

お問い合わせ/子ども財団 (TEL920-9670 FAX920-9671)

あかし版子ども食堂のポイント

ポイント①

子どもの総合支援につなげる気づきの拠点

ポイント②

すべての子どもが対象

ポイント③

あらゆる世代が気軽に集える居場所



気軽に来て、おなかいっぱい食べることができる居場所です



貴崎 そら食堂

貴崎1-5-46 (総合福祉センター新館)



子どもたちが安心して楽しめる場所であってほしいです

大久保 ねんりん子ども食堂

大久保町大久保町793 (大久保町公民館)



みんなでワイワイ遊びと食事を楽しめます



▲江井島産ののりで手巻きずし

江井島 子ども食堂しまっこ

大久保町西島252(江井島小学校区コミュニティセンター)



地域の人がふれあえる場所を目指しています

錦浦 中尾子ども食堂~パリオ~

魚住町中尾145(雫の里リハビリテーションセンター)



安心して過ごせ、気軽に集える場所を目指しています

魚住 金ヶ崎子ども食堂

魚住町金ヶ崎1368 (金ヶ崎文化センター)



子ども財団 5周年

Topic

地域のすべての子どもの健やかな育ちを応援することを目的に設立された子ども財団は設立5周年を迎えました。すべての子どものしあわせのために、これからもさまざまな取り組みを進めていきます。

